ラ・マムーニア
歴史に残る100周年記念イベントを開催
〜功績を振り返り親睦を深める特別な1週間〜

2023年10月

モロッコの古都マラケシュに位置するラ・マムーニアは、10 月 4 日から 8 日までの 1 週間にわたり、開業 100 周年記念イベントを盛大に開催しました。世界中から多くの来賓をお迎えし、モロッコの伝統、ラグジュアリー、芸術的な生活様式の 3 つを柱に、忘れられない特別な体験をお届けしました。

100 周年記念イベントは、現・旧を問わず全ての献身的なスタッフを称える 10 月 4 日のオープニングナイトにより、華々しくスタートしました。モロッコ伝統舞踊のダンサーと伝統音楽を演奏するミュージシャンが、1000 名のゲストを歓迎し、花を添えました。このほか、ラ・マムーニアがモロッコの文化や社会の発展に果たしてきた役割を中心に、その豊かな歴史を紹介するエキシビションも開催されました。

翌日の 10 月５日には、メディアと旅行代理店向けの「100 周年記念シャンデリア」のお披露目会が開催されました。このシャンデリアは、「貴婦人の宝石」の愛称でも呼ばれ、100 周年記念プロジェクトの１つである「Ode to Light（光の讃歌）」を象徴する大作です。ホテルロビーの優雅な雰囲気を引き立てるシャンデリアのデザインは、パトリック・ジュアン事務所が、100 周年記念リノベーションの一環として手がけました。リノベーションには「バー・マジョレール」と「サロン・ド・オヌール」も含まれ、ホテルは 100 周年のお祝いに相応しい装いに一新しました。

10 月 6 日のガーデン・パーティーでは、350 名の来賓が、120 メートのロングテーブルをホテルスタッフと一緒に囲みながら、シェフ・ジャン-ジョルジュ・ヴォンゲリステンによるディナーと、パティシエ・ピエール・エルメによるデザートを堪能しました。今世界で最も有名なクラシック・ピアニストのソフィアン・パマートが生演奏を披露し、宮殿ホテルのラ・マムーニアならではのおもてなしと優雅さに満ちた、幻想的なパーティーとなりました。

1 週間にわたる記念イベントのハイライトは、10 月 7 日の「グランド・センテナリー・イブニング」でした。ファッション、文化、ビジネス界の著名人を含め、国内はもとより世界各地から招待された 2,000 名のゲストがレッドカーペットを飾りました。
バラエティに富んだ美味しい料理のほか、素晴らしい音楽プログラムと多彩なエンターテイメントが、ゲストを魅了しました。その中でも、モロッコ政府観光局（ONMT）の局長、Adil Fakir（アディル・ファキア）氏に開会の挨拶をしていただけたことは、大変光栄なことでした。Fakir 局長は、当ホテルが、マラケシュだけでなくモロッコ王国全体の観光において、重要な原動力であることを強調されました。開会の挨拶に続き、総支配人のピエール・ジョエムは、ホテルの役員、スタッフ、ゲストに対し深い感謝の気持ちを伝えると同時に、伝統を大切にしながら未来を見据えたビジョンを発表しました。

ステージプログラムは、世界的な振付師のサデック氏と 60 名のダンサーによるショーで始まり、継承と共有を重視するラ・マムーニアの価値観を表現した圧巻のパフォーマンスで、会場を沸かせました。サデック氏のチームは、マラケシュでダンサーのオーディションを実施し、ショーの 1 週間前には、サデック氏が直接、選考された地元のダンサーたちにトレーニングとコーチングを行いました。これは、ラ・マムーニアが取り組む次世代を支援する施策の 1 つとして、モロッコの若いダンサーを巻き込みたいという考えに基づいた企画でした。

100TH 1923 2023 ANNIVERSARY

LA MAMOUNIA MARRAKECH

同夜は、最近モロッコを襲った地震の犠牲者を追悼し、連帯を示す機会でもありました。被災地の再建のために、寄付も呼び掛けられました。被害を受けたマラケシュと周辺エリアは、ラ・マムーニアが 1 世紀にわたり支援してきた地域であり、地震発生後、1,000 万ディルハムを復興基金に寄付しています。
音楽プログラムでは、モロッコの歌姫オームが、ソフィアン・パマートのピアノ伴奏に合わせてモロッコ国歌を初めて歌うなど、犠牲者を追悼するパフォーマンスが続きました。「アトラス山脈の声」と称される歌手シェリファの詩的な語りでベルベル人の詩人ムーサをフィーチャーした創作タブロー、そして、ベルベル語、フランス語、英語の 3 言語によるアハメド・ソウルタンによる歌が披露された後、モロッコ地震の追悼の意を表すフィナーレの曲として、モロッコ・フィルハーモニー管弦楽団の合唱団と共に、ハムザ・ラビットが、「ラ・マルシェ・ヴェルテ」を美しく歌い上げました。ラ・マムーニアがその結びつきを大切にしているマラケシュ、そしてモロッコの文化遺産を称える選曲でした。

そして、世界的スターの Mika（ミーカ）がステージに登場し、1 時間にわたる美しく圧倒的なパフォーマンスを繰り広げると、会場の熱気はさらに高まりました。Mika はマラケシュに滞在中、当イベントへの出演に加え、地元の児童協会も訪問しました。

イベントが終わりに近づいた頃、500 機ものドローンがマラケシュの空を優雅に舞いました。ラ・マムーニアが築いてきたマラケシュの街と人々との強い絆を称えたドローンショーにより、会場は深い感動に包まれ、3 分間の花火ショーがマラケシュの夜空を彩ると、お祝いの熱気が街全体に広がりました。

総支配人のピエール・ジョエムは、「一連の 100 周年記念イベントは、ラ・マムーニアが歩んできた歴史と、その歴史の中で、モロッコ文化の魅力を世界に伝える役割を担ってきた功績を称えるものでした。私たちは、これまでの 100 年の中で達成してきたことを誇りに思うとともに、次の100年でも世界中の旅人をお迎えできることを楽しみにしています。」と、コメントしています。

ラ・マムーニアは、1923 年の開業以来、ウィンストン・チャーチル、アルフレッド・ヒッチコック、ネルソン・マンデラ、チャーリー・チャップリンなど、名高いセレブが多数訪れ、モロッコが誇るホスピタリティの代名詞として不動の地位を築いてきました。

100 周年記念イベントを大成功に収めたラ・マムーニアは、世界的なラグジュアリーホテルの 1 つとして、これからも輝き続けます。 イベントが開催された 1 週間は、ラ・マムーニアとマラケシュ、さらにはモロッコの歴史に残り、永遠に語り継がれることでしょう。

About La Mamounia

モロッコの古都マラケッシュを象徴するホテル「ラ・マムーニア」は、著名な建築デザインのデュオ、パトリック・ジュアンとサンジット・マンクによる大規模改装が完了し、2020 年 10 月 16 日に再オープンしました。その前段階となる 11 年前の全館リニューアルは、世界的なインテリアデザイナーであるジャック・ガルシアが担当し、歴史あるホテルに新しい息吹を吹き込みました。136 室のスタイリッシュな客室の内、71 室がスイートです。スイートには、7 室のシグニチャー・スイートのほか、美しい庭園の中に佇む 3 室のリアド（モロッコ風邸宅）が含まれています。全てのリアドは、3 つのベッドルーム、広いモロッコスタイルのリビングルーム、オゾン処理されている温水プール付きのプライベートテラスを備え、思慮深い贅沢の本質を表現した世界有数の客室として、最上級のホテルステイをお約束いたします。ホテルの顧客リストには、世界の王室、政治家、ジェット機で各地を移動する各界の著名人など、そうそうたる方々が名を連ねています。イギリスのウインストン・チャーチル首相が「この世の中で最も美しい場所」と称したラ・マムーニアは、1923 年の創業以来、世界中のセレブを魅了し、伝統的なモロッコスタイルのおもてなしとグランドホテルの古き良き時代の古典的な模範を示してきました。詳細は、公式ウェブサイト（www.mamounia.com）と、フェイスブックやインスタグラムの公式アカウントをご覧ください。

このプレス･リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
ラ・マムーニア、マラケシュ日本地区ＧＳＡ、ケントス･ネットワークまでご連絡ください。
Tel：03-3403-5328　Fax：03-3403-5329　E-mail：info@kentosnetwork.co.jp
Web：www.kentosnetwork.co.jp　https://www.instagram.com/kentos_network/